

高浜市議会だより

# びらおる



## 八幡公園内に咲く紫陽花

あじさい  
撮影者：たかはま歴史探検隊 村松 輝一氏

contents  
目次

- P2 ~ P4 …… 1月臨時会・3月定例会：議案の件名・議決の結果（議員の態度）
- P5 ~ P9 …… 市政のここが聞きたい（一般質問）
- P10 …… 定例会中継案内、6月定例会日程・傍聴案内、編集後記

編集 広報・広聴委員会

発行 高浜市議会 高浜市青木町四丁目1番地2

電話 0566-95-9544 FAX 0566-52-1122

メール gikai@city.takahama.lg.jp ホームページアドレス <https://www.city.takahama.lg.jp/site/gikai/>



1月臨時会 第1回 (会期：1月30日・1日間) 議案等の件名・議決の結果 (各議員の態度)		議決結果	会派・議員氏名 (○ = 承認・賛成 ● = 不承認・反対)											
			市政クラブ					公明党	共産党	高志クラブ	新国会	高浜市民の会	凛々会	
			橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	長谷川広昌	北川広人	鈴木勝彦	今原ゆかり	野々山啓	柴口征寛	岡田公作	黒川美克	倉田利奈
種類番号	件名													
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	令和7年度高浜市一般会計補正予算(第11回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和7年度高浜市水道事業会計補正予算(第3回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月定例会 (会期：2月26日から3月26日まで・29日間) 議案等の件名・議決の結果 (各議員の態度)		議決結果	会派・議員氏名 (○ = 同意・賛成 ● = 不同意・反対)											
			市政クラブ					公明党	共産党	高志クラブ	新国会	高浜市民の会	凛々会	
			橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	長谷川広昌	北川広人	鈴木勝彦	今原ゆかり	野々山啓	柴口征寛	岡田公作	黒川美克	倉田利奈
種類番号	件名													
同意第1号	副市長の選任について	同意	○	○	—	○	○	○	○	●	○	●	●	●
同意第2号	教育委員会教育長の任命について	同意	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	●	
同意第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	指定金融機関の指定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	高浜市行政手続条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	高浜市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	●	○	○	●	○
議案第6号	高浜市犯罪被害者等支援条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	高浜市水道事業及び下水道事業審議会条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※神谷直子議員は、議長職のため表決権はありません。

<h1 style="text-align: center;">3月定例会</h1> <p style="text-align: center;">(会期：2月26日から3月26日まで・29日間)</p> <h2 style="text-align: center;">議案等の件名・議決の結果 (各議員の態度)</h2>		議決結果	会派・議員氏名 (○ = 賛成 ● = 反対)										
			市政クラブ					公明党	共産党	高志クラブ	新政会	高浜市民の会	凛々会
			橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	長谷川広昌	北川広人	鈴木勝彦	今原ゆかり	野々山啓	柴口征寛	岡田公作	黒川美克
種類番号	件名												
議案第8号	高浜市上水道事業給水条例及び高浜市公共下水道条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	高浜市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	高浜市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	高浜市職員の旅費に関する条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	高浜市事務分掌条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	●
議案第13号	高浜市障害者扶助料支給条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	高浜市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	高浜市使用料及び手数料条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	令和7年度高浜市一般会計補正予算(第12回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第17号	令和7年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	令和7年度高浜市土地取得費特別会計補正予算(第2回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	令和7年度高浜市公共駐車場事業特別会計補正予算(第2回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	令和7年度高浜市介護保険特別会計補正予算(第5回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	令和7年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	令和8年度高浜市一般会計予算	可決	○	○	—	○	○	○	○	●	○	○	●

※神谷直子議員は、議長職のため表決権はありません。

<h1 style="text-align: center;">3月定例会</h1> <p style="text-align: center;">(会期：2月26日から3月26日まで・29日間)</p> <h2 style="text-align: center;">議案等の件名・議決の結果 (各議員の態度)</h2>		議決結果	会派・議員氏名 (○ = 賛成・採択 ● = 反対・不採択)												
			市政クラブ						公明党	共産党	高志クラブ	新政会	高浜市民の会	凛々会	
			橋本友樹	荒川義孝	神谷直子	長谷川広昌	北川 広人	鈴木勝彦	今原ゆかり	野々山 啓	柴口 征寛	岡田 公作	黒川 美克	倉田 利奈	福岡 里香
種類番号	件名														
議案第23号	令和8年度高浜市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
議案第24号	令和8年度高浜市土地取得費特別会計予算	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第25号	令和8年度高浜市公共駐車場事業特別会計予算	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	令和8年度高浜市介護保険特別会計予算	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
議案第27号	令和8年度高浜市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
議案第28号	令和8年度高浜市水道事業会計予算	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第29号	令和8年度高浜市下水道事業会計予算	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
議案第30号	令和7年度高浜市一般会計補正予算(第13回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第31号	令和7年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4回)	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	調停申立て等について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議員提出議案第1号	高浜市議会委員会条例の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議員提出議案第2号	高浜市議会会議規則の一部改正について	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第1号	令和8年度高浜市土地開発公社の経営状況について	報告事項	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
報告第2号	令和8年度高浜市総合サービス株式会社の経営状況について	報告事項	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
報告第3号	専決処分の報告について	報告事項	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
請願第1号	加齢性難聴者への補聴器購入費助成を求める請願	不採択	●	●	—	●	●	●	●	●	○	●	○	○	○

※神谷直子議員は、議長職のため表決権はありません。

市公式  
ホームページ



## 会議録は順次公開しております。

「トップページ」→「高浜市議会」  
→会議録「定例会」「臨時会」「委員会」「特別委員会」  
ご覧になりたい「会議録」を選んでください。  
URL <https://www.city.takahama.lg.jp/site/gikai/>

# 市政の ここが聞きたい!!

## 一般質問

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をたずめます。

(高浜市議会会議規則 第61条 議員は、市の一般事務について、議長の許可を得て質問することができる。)

なお、掲載文は、議員本人作成(文責)の原稿です。



P5~P7



P8~P9



柴口 征寛 議員

### 高齢者福祉施策と サン・ビレッジ衣浦の 位置づけについて

問 外出促進を高齢者福祉施策の中でどのように位置づけているか。

答 フレイル予防や社会参加の観点から中核的な取組と位置づけ、通いの場づくり等を進めている。

問 サン・ビレッジ衣浦の利用料について、碧南市では高齢者等を対象とした半額制度が導入されるが、同一施設で市民間に差が生じることに對する本市の対応は。

答 利用料割引等は市単独事業であり、差が生じるのは各市の政策選択の結果である。現時点で利用料のあり方を検討する考えはない。

### 市役所開庁時間の短縮について

問 開庁時間短縮により、就労者や子育て世帯など来庁時間に制約のある市民への影響をどのように認識し、どのような配慮を行うのか。

答 確定申告時期や年度末・年度開始等の繁忙

期には混雑が想定されることから、その期間の時間延長を検討している。また、午後4時以降しか来庁できない人については予約対応を検討している。

問 開庁時間短縮の実施後、その効果や課題についてどのように検証し、見直しにつなげていくのか。

答 窓口の混雑状況や来庁者数の変化等を踏まえ検証を行い、必要に応じて見直しを検討する。

### AIオンデマンドバス「チョイソコたかはま」 の更なる利便性向上について

問 今後の市外停留所の設置について、本市はどのように考えているか。

答 市内の利用状況を見ながら、東西の市町との結節点を模索していく。

問 土日祝の運行や運行時間の拡大の考えはあるか。

答 現時点では、選挙期間中の臨時運行を除き、土日祝運行の考えはない。また、タクシーへの影響や市の財源等を勘案して、午後4時半までと設定していることから、運行時間拡大の考えもない。



福岡 里香 議員

### 伝わる情報発信のあり方について

**問** 公式HP、LINE、『かわらんど』をどのように連動させ、より伝わる仕組みへと発展させていくのか。

**答** 市公式HPを行政情報のプラットフォームとし、LINEとかわらんどはその

導線となる。あわせて、市の媒体に掲載できない情報はかわらんどで扱い、高浜市全体の情報プラットフォームとして運用していく。



### 市営住宅制度の公平性と持続可能な運営について

**問** 1階住戸の優先枠を明文化し、対象を高齢者世帯にも拡充する考えはあるか。

**答** 県や近隣市の状況を調査する。

**問** 市営住宅では、退去後の修繕が進まず空き住戸のままなのは全140戸のうち何戸で1階住

戸は何戸か。優先枠の設定が困難なら、空き住戸の修繕を進め供給戸数を確保すべきでは。

**答** 令和8年2月20日現在、空き住戸は26戸(1階6戸)。安価に対応できるものは当該年度に、高額となるものは翌年度以降に計画的に修繕し、空室の解消に努めている。

**問** 抽選制度では長期間当選できない世帯がある可能性がある。刈谷市では多数回落選者に抽選番号を複数付与する制度がある。本市でも導入を検討する考えは。

**答** 近隣市では刈谷市のみで、愛知県も同様。入居希望者はいずれも困窮しているとの考えから、落選回数に関わらず平等に取り扱う。

### パーキングパーミット制度について

**問** 愛知県でパーキングパーミット制度が開始された後、市役所にも問い合わせが想定される為、対象者や駐車スペースの考え方、配慮が必要な方への対応も含めた周知について、本市の役割と県との連携をどう考えているか。

**答** リーフレットやポスターの掲示・配布に加え、広報やHP、LINEで周知し、窓口でも丁寧に案内できるよう情報共有を図る。



黒川 美克 議員

### 市長の市政運営について

**問** 「体育館にエアコンを設置し、スポーツも避難時も快適に！」の今後のスケジュールは。

**答** 全小・中学校の体育館への空調整備は、本年度、両中学校の設計業務委託を行い、来年。

**問** 「公共施設に太陽光パネルを設置し、災害時にも電源確保を」の今後のスケジュールは。

**答** 国の交付金を活用し、令和8年度に高浜小学校複合施設へ太陽光発電設備を導入する予定。

**問** 「仕事を地元で！工業用地の整備で働く場と税収確保」についての政策実施の動きは。

**答** 工業用地の整備等は特に動きはないが、企業等が工場等の新設や既存施設の拡充に対する支援として奨励金を交付しており、現在も複数の企業から相談を受けており、民間主体による工場用地の整備を進めるための支援を行い、企業等の相談を受け、関係機関との調整を進めている。

**問** 翼小学校の東側に調整区域の土地があるが、過日、大手の企業がショッピングセンター

をつくりたいと説明会を開かれたという話を確認したが、市は承知しているのか。

**答** 翼小学校の東側については、大型ショッピングセンターをつくりたいという相談は受けているが、具体的には民間主体による事業として進めることなので、説明会等の詳しい内容については承知していない。

### 高浜市のコンプライアンスについて

**問** 税務グループの放火事件の検証は。

**答** 期限内に納付しない方は、督促を行い、なお、納付しない方は差し押さえ等を執行し、その状況により適宜相談に応じ、公平公正に対応している。

**問** 丸畑公園トイレの現状の対応は。

**答** 昨年2月に火災のあった丸畑公園のトイレは、今月下旬の完成を目指している。情報収集し、施設の構造や維持管理の方法などから原因を検証し、再発防止策として、警察への巡回監視の強化の依頼や、代替施設として設置をした仮設トイレに火気使用禁止の張り紙を貼り、啓発を図っている。また、現在施工中の工事で照明をLED照明に変更するなど、再発防止に努めている。



荒川 義孝 議員

### 健康寿命延伸のための方策とその効果について～予防医療の観点から考える～

**問** 健康寿命の延伸を財政健全化に向けた重要な方策の一つと捉えるが、医療費、介護費の現状と展望は。

**答** 議員の指摘のとおり、予防医療への注力が将来の財政負担軽減に直結する認識のもと、成果を重視した施策展開を進める。

**問** 本市の予防医療についての考え方は。

**答** 発生予防、早期発見・治療に重点を置き、健康を維持し、受診を減らせば生活の質の向上と医療費抑制の両方の効果が期待できる。

**問** 地域住民との連帯意識などの指標であるソーシャルキャピタルが健康に関与する。食生活や運動と社会参加を関連させた取り組みは。

**答** 地域で取り組む体系的な実施が今後の課題。

**問** データヘルスの積極的な活用が予防医療と医療費の抑制につながると思うが考えは。

**答** 健診やレセプトデータを活用し、受診や早期治療を奨励し、重症化を防ぐ取り組みを実施。

**問** パーソナルヘルスレコードは生涯にわたる個人の健康・医療等の情報で多様な活用やステークホルダーの参加が可能。本市での活用を勧めたい。

**答** 活用により市民自身での健康管理、保健指導、保健施策の立案など効果的な実施が可能。

**問** 健康格差対策では社会環境に目を向けたポピュレーションアプローチ、換言すれば、「まちづくり」重視のアプローチが必要と考えるが見解は。

**答** 誰もが日常生活の中で無意識に自然と健康な行動が取れる環境を整える施策が必要。

**問** 健康寿命が延伸し、社会参加の促進等により消費効果も発現すると考えるが、期待する効果は。

**答** 経済、消費面への波及効果が期待できる。

**問** 健康寿命の延伸は一つのソリューションでの達成は不可能。組織の壁を越えて共通アジェンダを掲げ、互いの強みを生かす包括連携協定。その中でSIB方式は民間資金のもと、社会課題解決型事業を実施し、成果に応じて自治体が対価を支払う。財政面で有効と考え提案する。

**答** 行政コスト削減と社会課題を同時解決できる点は、本市が抱える課題への対応策としてのスキームであり、参考になる提案である。



今原 ゆかり 議員

### RSウイルス感染症対策と肺炎予防について

**問** RSウイルス感染症は、RSウイルスにより引き起こされる呼吸器感染症で、2歳までに、ほぼ全ての子どもが一度は感染し、その後も感染を繰り返すとされている。特に6か月未満

は、呼吸困難や重い肺炎などの重症化リスクが高いため、警戒が欠かせない。有効な予防策には、妊婦に接種することで母体にできた抗体が、胎児に移行する「母子免疫ワクチン」があり、4月からは定期接種化され、全国で対象の妊婦は原則無料で接種できるようになる。

**問** 接種対象者とワクチン接種の効果は。

**答** 接種対象者は、接種時点で妊娠28週0日から36週6日までの妊婦の方。ワクチンの効果は、気管支炎や肺炎の予防において、生後6か月時点で、5割程度の予防効果が確認されている。

**問** 抗体製剤が予防接種法上医薬品に位置づけられることで、乳児の予防対策がどのように変

わると考えているのか。

**答** 何らかの理由により、接種前に出産となる場合もあることから、抗体製剤が予防接種法上の医薬品として位置づけられれば、出生後に接種するという新たな選択肢が加わり、これまで予防の手が届かなかった乳児への対策が広がるものと期待している。

**問** 高齢者の肺炎を引き起こすウイルス感染症の一つとして、注意喚起されているのがRSウイルス感染症である。60歳以上の年間の患者件数は、100万件以上と推計され、医療費負担も約1,000億円近くにのぼるとされている。成人・高齢者におけるRSウイルス感染症は、インフルエンザや新型コロナウイルスとは異なり、感染し発症した時の治療薬がない。医療機関での適切な診断の機会も少なく、集団発生のようなことが起きない限り患者の認知がされないのが現状だ。高齢者の命に関わっているRSウイルス感染症について、どのように認識しているのか。

**答** 厚生労働省から、65歳以上の肺炎患者の約4%を占めることが報告されている。高齢者への影響を軽視してはならないと認識している。



北川 広人 議員

### 防災行政について

**問** 災害に強い、まちづくり条例制定を目指しているが、行政が考える災害に強いまちとは。

**答** 住宅の耐震化や不燃化が進み、まちの施設や環境が安全で快適さが整備されている。さらに、地域の人々

が助け合える共助の関係が構築されている姿と考える。

**問** 自助・共助・公助をどう定義しているのか。

**答** 自助とは、食料などの備蓄、家具の転倒防止、家の耐震化、避難経路の確認からマイタイムラインの作成などを定義。共助は、隣近所や町内会、まちづくり協議会が地域の災害時要援護者の避難協力や消化活動を行うなど互いに助け合うことと定義。公助は市役所を含め消防・警察・自衛隊などの公的機関による救助活動、支援物資の提供、法的支援全般を定義している。

**問** 共助力向上の取組みは。

**答** 将来にわたって継続的に防災組織力を強化

するために専門知識を得た防災士などが中心になって地域をまとめていただくことが重要。そのような方々を多く地域に広げていくよう進めていきたい。

**問** 町内会の加入率が半減している。これは地域防災力が半減していることになる。対策を考えるべきでは。

**答** 共助の役割を担っていただけるのは町内会だと考えている。災害に強いまちをつくるためにも防災講演会や防災学習会で説明していく。

**問** 共助の充実のために町内会への加入促進を図るべきではないか。

**答** 防災の観点からも町内会に加入することは重要。防災訓練の高度化、活動の見える化、情報発信の強化など町内会の取組みが、市民に価値あることと伝わるように支援をしていく。

**問** 防災を進めるにあたり、行政組織の縦割りの弊害があるのではないか。

**答** 防災だけではなく、時代に合った構造改革を進めていく。地域防災力は市民が自分事として考えてもらう。地域をつなぐ場を強くしていくことが災害に強いまちをつくることだと考える。行政がやれることをしっかりとやっていく。



野々山 啓 議員

### 就労継続支援の現状と持続可能な制度運営について

**問** 市内外の就労継続支援事業所の利用状況と、直近3年間の利用者の推移と、障がい種別の状況は。

**答** 市内外で就労継続A型10、B型59事業所を利用。利用者は増加傾向で、特に

精神障がいのある方の利用が年々増えている。

**問** 精神障がいのある方の利用増加の背景と、支給決定時のアセスメントやモニタリングなど適切なサービス選択の仕組みについては。

**答** 就労継続が困難となるケースの増加や受診環境の改善が背景。相談支援専門員がアセスメントを行い、市が審査して支給決定している。

**問** 一般就労移行実績や工賃の情報公開、優先調達の取組、さらに給付費を自立への投資として活かす視点について市の考えは。

**答** 工賃は県HPで公表され、実績はWAMNETで確認できる。就労支援員配置などにより一般就労と定着支援を進めている。

### 脳とからだの健康チェック事業について

**問** 認知症や軽度認知障害の増加が社会課題となる中、本市の「脳とからだの健康チェック事業」はどのような目的で導入され、どのような仕組みで実施されているか。

**答** 国立長寿医療研究センターと連携し、60歳以上の市民を対象に認知機能や体力などを測定し、早期の気づきと予防活動につなげる体制として実施している。

**問** 本事業の参加率はどの程度で、市民にどのような効果が表れているか。

**答** 参加率は約19%で他自治体と同水準。参加者と未参加者の比較では要介護認定率に差が見られ、健康への気づきが予防行動につながる可能性が示されている。

**問** 高齢化が進む中、本事業を今後どのように発展させていくか。

**答** 生活習慣病予防を基盤に研究機関と連携し、データ分析やデジタル技術を活用しながら、科学的根拠に基づく認知症予防施策の充実を図っていく。



長谷川 広昌 議員

### デジタル社会の実現に向けた取組みについて

**問** 市民目線でデジタルを最大限活用し、デジタル行財政改革を推進していただきたいが、本市のDX取組状況のランキングは。

**答** 民間会社が公表したDX推進に係る最新の「自治体ドックランキング2026」では、全国1741自治体中692位。同規模人口自治体398自治体中192位。

**問** 5つの分野で順位付けがされ、総合で上記の順位となっているが、各分野での順位と今後の検討課題は。

**答** ①「自治体DXの推進体制」では、全体で211位、同規模自治体で40位。課題は、職員の更なる育成と外部デジタル人材の活用。②「自治体フロントヤード改革」では、全体で266位、同規模自治体で40位。課題は、スマートフォンやPCから手続きが完了する「行かない窓口」の充実や窓口のレイアウト変更といったハード面

の空間整備の検討。③「情報セキュリティ対策」では、全体で1582位。同規模自治体では366位。課題は、情報システムに関する業務継続訓練の充実。④「デジタルデバインド対策」では、全体で14位。同規模自治体では1位。課題は、各種機会を活用したデジタルデバインド対策をいかに継続的に実施するかという点。⑤「行政サービスの向上・高度化」では全体で596位。同規模自治体では162位。課題は、市役所内部の決裁処理が紙ベースであることから電子決裁の導入。

**問** 本ランキング結果を通じて本市のDX推進の現在地と今後の検討課題が見えてきた。しかし、一方で市民から見ると「目に見える変化」が少ないと進んでいないのではないかと感じる方もいると考えられる。今後はスマートフォンで完結する手続きがどこまで増えるかが、評価の分かれ目になっていくと考える。例えば渋谷区、近隣では西尾市が先進的な取り組みをLINEで開始しているが、どのように捉えているのか。

**答** ご紹介いただいた事例について、自治体の公式LINEを活用した各種手続きのオンライン化について、参考にし、どのような取組みが可能か研究していく。



倉田 利奈 議員

### 財政運営について

**問** 予算審議の前提となる長期財政計画を公表しない理由は。財政が破綻しているということか。

**答** 令和9年度当初予算編成後、財政調整基金（市の貯金）が枯渇することを示した。何もしなければ枯渇するため、今後行財政改革に取組み、その結果長期財政計画を議員に説明する。

**問** 現時点において、令和9年度10年度11年度12年度13年度の5年間、当初予算編成後の赤字の見通しは。

**答** 過程の数字は、全く意味がないので、数字は持ち合わせていない。市民や議員に対し、そんないい加減な数字をだすのは失礼だと思っている。構造改革をして黒字化していく。

**問** 副市長は財政を危機的にしたことに対し、大幅な報酬の削減を自ら申し出ることにはしなかったのか。

**答** 私から申し出はしていない。

**問** 市長は議員のときに財政調整基金が枯渇することに気づいていたのに予算に賛成してきたのか。

**答** 当然そういった可能性はあるなど。でも枯渇したら困るので、そうならないようにやっていくと。そんなことは当たり前だと思っている。

**問** 財政当局は、市長に対して、財政危機宣言を出すように進言したことはないのか。

**答** 6月の法人市民税が減収になった以降、危機に陥る可能性があることを伝えてきている。

**問** 吉岡市長のときから、このような事態が想定されていたが既に退任しているので、杉浦市長が就任されてすぐ市長および副市長の給与をカットすべきであった。なぜ市長は自らの報酬を削減しないのか。

**答** 人材確保をするにあたって、何が大事と思ったら、一番は報酬だと思う。

**問** 既に破産状態にも関わらず、財政危機宣言が出されていない。宣言すべきでは。

**答** 私（市長）が宣言をやめようと決断した。出してお金が出るわけではないし、お金がうまれるわけじゃない。危機感はある。出すことよってのハレーションや不安を持つ人がいる。

## 議場に行かなくても「本会議」が見られます

インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、ライブ配信や録画配信をご覧ください。

- ①ライブ配信で、本会議の視聴ができます。※告示日と各委員会等の配信はありません。
- ②本会議開始時刻は、いずれも午前10時開始予定です。
- ③録画配信は、ライブ配信後、概ね2週間後を予定しています。

市公式ホームページからも  
リンクしています。

「トップページ」→「高浜市議会」→「議会映像配信」

(※ご覧になりたい「定例会」・「臨時会」を選んでください。)

### ■パソコン向け・スマートフォン向け映像配信アドレス

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/Webview/rd/council.html>



！  
ご注意ください

※視聴は無料ですが、通信料などご視聴者の皆様の負担となります。動画配信のため、ご契約内容によっては通信料等が高額となる場合がありますので、契約内容のご確認とご納得の上で視聴願います。

## 6月定例会の日程(予定)

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回開催されます。会議の開始時間は、いずれも午前10時の予定です。一般質問では、市政全般にわたって論議が展開されます。ここに記載のある委員会も傍聴できます。

月日	曜	会議日程	摘要
6月4日	木	告示日	議会運営委員会
6月11日	木	本会議 第1日 <b>ライブ配信</b>	開会、議案上程、説明
6月16日	火	本会議 第2日 <b>ライブ配信</b>	一般質問
6月17日	水	本会議 第3日 <b>ライブ配信</b>	一般質問
6月19日	金	本会議 第4日 <b>ライブ配信</b>	総括質疑、議案委員会付託
6月23日	火	総務建設委員会	付託案件審査
6月24日	水	福祉文教委員会	付託案件審査
7月1日	水	本会議 第5日 <b>ライブ配信</b>	委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決、閉会

※今後の協議により、変更となる場合があります。

※令和8年6月から市役所窓口の開庁時間及び電話受付時間が午前9時から午後4時までとなりますが、傍聴は、会議中であれば午後4時を過ぎていても入退場が可能です。その際は、職員にお声がけ願います。

### 編集 後記

今年もあっという間に6月。私が広報・広聴委員長として最後の「ぴいぶる」発行となりました。この原稿を書いているのは桜の時期ですが、つい先頃まで冬季オリンピックやWBCをテレビで観戦し盛り上がっていたことを思い出します。6月にはサッカーワールドカップがアメリカ、カナダ、メキシコの3か国共催で行われます。サムライブルー旋風を起してくれることを今から期待しております。最後に、皆様のおかげで広報・広聴委員長を1年間務めることができました。心より感謝申し上げます。



広報・広聴委員会 委員長 長谷川 広昌